平成26年度　中学校2年理科で指導すべき内容を指導できなかった状況について

１　指導できなかった学校の状況

　　平成27年4月21日に実施された「平成27年度全国学力・学習状況調査」において、理科の調査問題に関する教育内容(２年生で学習する内容)を指導できないまま調査を実施した学校が、府域(政令市を除く)で8市町村9中学校あった。

＜学校数＞

|  |
| --- |
| 豊中市　　　1校　　　吹田市　　　2校　　　四條畷市　　1校　　　富田林市　　1校河内長野市　1校　　　千早赤阪村　1校　　　和泉市　 1校 　 忠岡町　　　1校 |

　　＜指導できなかった主な単元内容＞

　　　○第１分野 (3) 電流とその利用　ア 電流　　　　イ 電流と磁界

　　　○第２分野　(4) 気象とその変化　イ 天気の変化　ウ 日本の気象

＜指導できなかった生徒への対応＞

　　　○指導できなかった内容については、各学校において補習授業を行う。4月末までに4校終了、5月末までに4校、1学期末までに1校が終了予定。

２　指導できなかった主たる原因

　　　○授業担当者の進行が遅かったうえに、年間指導計画を意識した進捗管理が不十分であった。

　　　○管理職を中心とした学校体制の中で、当該教科の年間指導計画の進捗管理が不十分であった。

３　府教育委員会の対応

○当該市町村教育委員会に対して、各校の補習状況等についての確認を行う。

○市町村教育委員会に対して、以下の内容を指導する。

・年間指導計画の内容とその実施状況の把握の徹底。

・教育課程が適切に実施されるような学校体制(状況把握、進捗管理等)の徹底。

４　大阪府公立高等学校入学者選抜における調査書の評定の扱い

○指導できないまま調査を実施した学校の平均正答率は、当該問題の結果を除いて算出する。また、当該校に適用する府の平均正答率については、指導できなかった問題を除いた平均正答率を、府教育委員会において別途算出し、当該中学校に提供する。

４－２

４－１